

教えるから 共に学ぶへ ⑤-1

R7.9.24 (水)
R7.9.17 (水) の2年生社会科の
授業レポート
今治市立菊間中学校
橋本 孝大

菊間中学校では、グランドデザインに示したように「学び合い」「聴き合い」「探究的な学習」をキーワードに授業改善を進めています。その第五弾として、橋本が2年1組で研究授業をしましたので、その様子をお知らせします。

B課題；学力の基盤(base)となる課題

A課題；探究活動(advanced)を導く課題

授業の流れ

目標 習得した知識（奈良県・京都府には歴史的建築物が多い）を生かして、京都市で歴史的景観が保護されている理由と持続可能な観光について考える。

1 前時の復習（導入）

- ・「もしも、京都府に旅行に行くならどこに行きたいか？」
→金閣や清水寺、伏見稲荷大社など歴史的な文化財が多く挙がった。
- ・「京都府の特徴について調べよう」
→日本有数の歴史と文化の集積地。歴史的建築物が有名。伝統文化も有名。



2 歴史的景観を保護するために、どのような取組を行っているのか理解する（B課題）

- ・ICT 端末、ロイロノートの資料、教科書などを活用して考える。〈個人→小集団→全体発表〉

資料を基に京都市を訪れる観光客数が多いことを確認した後に、観光客が多く京都市に集まる理由について考えました。「歴史的な町並みが多いから。」「有名な歴史的建築物が多いから。」などの意見がありました。次に、「歴史が息づく古都の町並み」として、京都府や奈良県には、歴史的な景観や多くの文化財が残されていること、伝統的工芸品の生産も盛んであることを学習しました。

次に、「歴史的景観を保護するために、どのような取組を行っているのか」をICT 端末や教科書、ロイロノートに送っている資料などを基にまとめる活動を行いました。生徒は上手に資料を活用してまとめることができました。授業後に行ったアンケートでは、「京都や奈良では、歴史的景観を保護するために、どのような取組を行っているのか理解できましたか？」という項目に対して、「理解できた」11人、「少し理解できた」1人、「あまり理解できなかった」0人、「全く理解できなかった」が0人でした。意見としては、「班になってお互いに意見を出し合ったり、考えたりしたから。」「資料を使用していてわかりやすかったから。」などがありました。

3 なぜ、京都市では景観を保護し、京都らしい町なみを保存しようとするのか考える。（B課題）

- ・1、2の学習を踏まえて考えさせる。〈個人→小集団→全体発表→NHK for Schoolで確認〉

次に、「なぜ、京都市では景観を保護し、京都らしい町なみを保存しようとするのか」を班で意見を出し合い、考えました。最初は、難しく感じる様子もありましたが、班で意見を出し合う中で、「歴史的な風景や建築物を守るため。」「観光客を増やすため。」などの意見があり、どの班もしっかりと考えをまとめることができました。アンケートでは、「なぜ、京都市では景観を保護し、京都らしい町なみを保存しようとするのか考えることができましたか？」という項目に対して、「できた」9人、「少しできた」3人、「あまりできなかった」0人、「全くできなかった」が0人でした。

4 京都府がこれからも魅力ある観光地であり続けるためには、どのような取り組みが大切だろうか、観光客と住民の立場から考える。(A課題)

・習得した知識を用いて、観光客と住民の立場を踏まえて意見を表現する。〈個人→小集団→全体発表〉

観光は受入先にとっては、大きな収入源となります。また、旅行者にとっては、現地の文化を知る貴重な機会となります。大勢の人々が観光に訪れることで、地域の活性化にも繋がります。一方で、観光客が押し寄せて自然環境や地元の人々の生活・文化がおびやかされる事態が各地で発生しています。観光客と住民の立場を踏まえた持続可能な観光に向けて考えることは大切なことです。そこで、「京都府がこれからも魅力ある観光地であり続けるためには、どのような取組が大切だろうか」という課題に対して、観光客と住民の立場から考える活動を行いました。住民の立場について少し難しく感じる様子があり、課題について考えさせる際に、オーバーツーリズムなどの問題点についてもう少し丁寧に押さえた方が良かったと感じました。アンケートでは、「京都府がこれからも魅力ある観光地であり続けるためには、どのような取組が大切か考えることができましたか？」という項目に対して、「できた」11人、「少しできた」1人、「あまりできなかった」0人、「全くできなかった」が0人でした。意見としては、「昔ながらの景観を残しつつ、観光客にも住民にも両方が気持ちよく暮らせる町についてわかった。」などの意見がありました。



参観した教師からは、「景観保存の是非を考えさせる場面があれば、より多様な意見があったかもしれない」、「A課題の時間を確保するためにそれまでの時間配分の工夫を行うとよい」「動画の活用によりイメージがしやすくなっていた」、「良い雰囲気の中で授業が流れていた」などの意見がありました。また、生徒が考えたりしている時は、説明をできるだけ少なくして生徒の思考をより生かしていきたいと感じました。今後の授業に生かしていきたいと思います。

全体を通しての生徒の感想では「みんなといろいろな意見を共有することができたので良かったです。」その他、「学んだことを生かして修学旅行を楽しみたいです。」など修学旅行を踏まえた感想が多くありました。感想を読んでいてうれしく思い、修学旅行での学びがより深まる授業になったのではないかと思います。この授業を実施してよかったと感じました。そして、2年生のみなさんが修学旅行を楽しみ、自己の見聞を広め、かけがえのない思い出をつくることを祈っています。

保護者の皆様へ

右の二次元コードからアンケートに入り、ご意見ご感想をお聞かせ願えたらと思います。お寄せいただいたご意見ご感想は、まとめたのち「⑤-2」として再度配布します。そして、貴重なご意見は授業改善に生かしていきたいと思います。ご協力をお願いいたします。

